

# 台湾爆発事故、ありったけのガーゼ送った日本企業に反響

台北＝鶴飼啓 2015年7月3日09時50分

シェア

21125

ツイート

2998

ブックマーク

335

メール

印刷



台湾・新北市のウォーターパーク「八仙水上樂園」で起きた爆発事故で27日、救急隊員の手当てを受ける負傷者たち＝AFP時事

EQ 英語話

英語でこんな間違い  
していませんか？

元ANA通訳の大学教授が  
発見した日本人が英語を  
話せない意外な理由とは？

続きを見る▶

Ads by Google

[PR]

カラーパウダーを使った台湾の音楽イベントで粉じん爆発が起き、大勢の若者が大やけどを負った事故で、日本の医療器具メーカーが治療用ガーゼを寄贈し、台湾で反響が広がっている。この社のフェイスブックページには2日までに9千件余りの感謝メッセージが書き込まれている。

寄贈したのは、富士システムズ（東京都文京区）。通気性のよい合成繊維にシリコン液をコーティングしたガーゼで、傷にかぶせた上で包帯を巻く。重度のやけどには使いにくいですが、ガーゼをそのままにして包帯だけ交換することで、皮膚の再生を助ける。普段の需要は少なく、日本でこうした製品を作っているのは同社だけという。

寄贈を台湾の立法委員（国会議員）がフェイスブックで紹介し、広く知られるようになった。メッセージの多くは台湾人からと見られ、中国語や日本語などで「ありがとう」などと書かれている。福島に工場を持つ同社の川口洋一郎社長は「あるものを全て出した。東日本大震災の際の台湾の支援にお返しができれば、と思った」と話す。

また、岡山市に本部がある国際医療NGO、AMDAが2日、日本医師会と共同で医師2人を台湾に派遣した。2日間滞在して状況を把握した上で、今後の支援を検討するという。この事故では約500人がやけどなどのけがを負い、2人が死亡している。衛生福利部によると2日昼時点で271人が集中治療室で治療を受けている。（台北＝鶴飼啓）